

〈部活動の思い出〉 創立 70 周年記念誌より

(簿記部) 元教諭 小沼きよ子 様

(弓道部) 元教諭 畝本孝志 様

簿記部の活動目標は、日本商工会議所、全国経理学校協会、全国商業高等学校協会主催のそれぞれの簿記検定試験合格と、毎夏行われる二つの簿記大会への出場、入賞にしている。この十年間、各大会で優秀な成績が残せたのも簿記部という部活動のみでなく、常に日ごろからの簿記の授業の集大成であり、三年生になるまでの間、商業科の先生方の努力の賜物だと思っている。私が赴任をしてすぐの大会では、すんなり優勝する生徒を見て、芝商の伝統のすごさを肌で感じる事ができた。私自身、やればやるほどのめりこみ、東京都での芝商の地位を考えると負けるわけにはいかないという思いと、生徒に対して、東京都だけでなく全国レベルでの同じ高校生同士の触れ合いの中で、何か感じてくれればという思いで頑張った。簿記部の思い出といえば、暑い夏…。東京都大会で勝ち抜き、全国大会に向けての練習は、7月の期末試験終了時から8月10日くらいまで続くまさに朝から晩まで簿記漬けの毎日であった。結果だけを見るといいが、自分自身との戦い、地道な努力あるのみの世界であった。たかが簿記、されど簿記である。その中であってはつらいことが多かったけれど、入賞した時の喜び、頑張った成就感が忘れられず、出場した生徒の多くは資格試験取得に向けて、今でも努力を続けている。

平成8年6月1日関東大会二日目。善戦及ばず的中一本の差で敗退した。だが十分な練習ができない中よく頑張ったと思う。

我が弓道部は、昭和45年中島靖二先生のご指導の下誕生した。先生のご尽力により、少なかった道具も徐々にそろい、道場も何とか出来上がったのである。しかし、平成5年1月、校舎改築の第一歩として、この弓道場が取り壊された。そこで近くにある旧芝離宮恩賜庭園内の弓道場で練習することになったのだが、利用時間は午後4時まで。それでも他に場所がないため、ホームルーム、掃除を終え、芝離宮まで駆けだして行って練習をしていた。

そんな逆境の中、2月東京都新人戦で初優勝。全国高校選抜大会の出場権を勝ち取った。6月にはインターハイと予選で団体の部準優勝、個人では優勝とともに全国大会出場を決めた。また秋の都大会でも個人優勝、団体準優勝という成績を残した。その後、部員の減少という時期もあったが、平成7年と個人選手権で優勝を含む3名の入賞者を出し、関東個人選手権に出場した。

そして冒頭のとおり、関東大会出場を果たした。この十年間で、たった一名であった男子部員も三名となり、新しい弓道場も完成し、部員の活動がますます活発になってくれることを期待している。